

すくわくプログラム

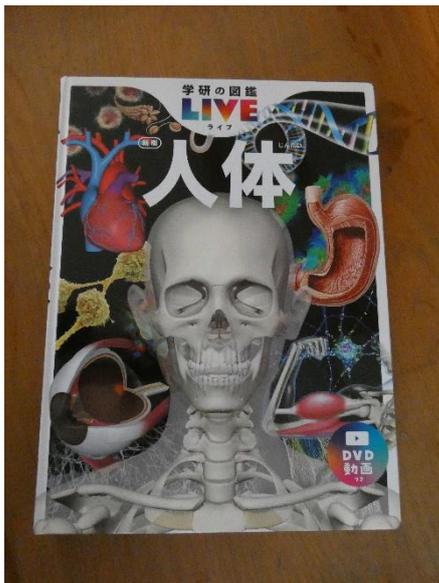
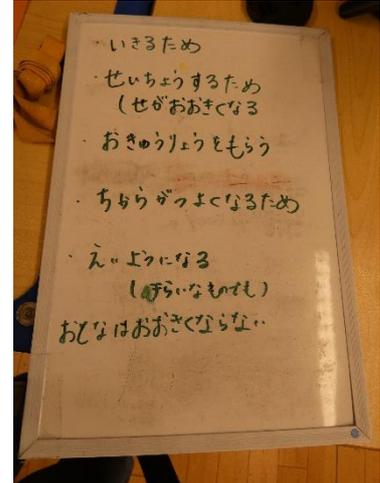
どうして食べ物を食べると思う？



けやき組が2つのチームに分かれて“どうして食べ物を食べると思う？”というテーマからどのような学びに繋がっていくのか進めていきました。

【初回：疑問の始まり】

“どうして食べ物を食べると思う？”という問いに対して子ども達から一番に挙がったのは「大きくなる為」でした。ただ、そこから「大人は食べ過ぎると太っちゃうんだよ。子どもは食べ過ぎても太らないのね」「お父さんが言ってたんだけど、大人はどんどん小さくなっていくんだって」という声も聞こえてきました。保育士が「そうなの？でも何でかな？」という問いかけには答えが出ず、そのまま次回に続きました。



【二回目：テーマ決定】

二回目に入る前に図鑑をクラスに提供して、答えや新たな疑問が出るか待ちましたが、二回目が始まったときには子ども達から新しい意見はありませんでした。そこで、保育士と一緒に図鑑を開きながら、どのような反応があるかを観察しました。読み進める中で、子どもの一人が“骨”のページに目を留めます。自分が骨折した経験や、友だちも直近で骨折していることから興味があるようでした。また、大きくなるには骨が関わっていることをボンヤリと知っている為、我々のチームは骨をテーマにして学びを深めることにしました。

【三回目：色々な骨？】

三回目はパソコンとプロジェクターを使用して、リアルタイムで検索を掛けてみることにしました。子ども達からは「骨がある生き物と骨がない生き物がいる」という話題もあり、クラゲやタコといったものを調べていく中で他の動物の骨の模型の写真が出てきました。ただ、検索する中で、“イカに骨格があったら”というような架空のものも出てきた為、子ども達からは「本物を見に行きたいな」という声も上がっていました。



(作成者：藤原 太)